

文章博士

Monjo-Hakase: Web-based Automatic Text Correcting Assistant for Technical Writing

技術文書・テクニカルライティング向け自動校正支援システム

<http://njc.lunark.org/>



利用の手引き

1. はじめに

文章博士（もんじょうはかせ）は技術文書の校正を支援するソフトウェアです。

さて、説明文は高度な内容の伝達のために、内容や文法が複雑になりがちです。このような問題を解決する為に、本ソフトは開発されました。あなたにとって、技術文書、論文の添削に役立つ強力なツールとなるでしょう。是非ご活用ください。

※もちろん、書いている文の内容についてのツッコミはできません。あしからず。

さて、このソフトウェアは以下の技術を利用して作られています。

日本語係り受け解析器 : CaboCha (<http://cabocha.googlecode.com/>)

校正支援ソフトウェア : jcorrect (<http://www.ispl.jp/~oosaki/research/tips-jcorrect/>)

上記2つのプログラムが弾き出す解析結果を使い（一部文書博士自身も解析を行います）、文章が文法的に煩雑になっているところや、誤っている可能性の高い場所を指摘してくれるというのが、文書博士の本ソフトウェアの機能です。

これをまず先に説明すると、「既にそういうソフトあるんじゃないかな」「なんでみんな使わないの？」ということになるでしょう。実は、上記2つのソフトウェアは、インストールのためには事前に「コンパイル」といった作業が必要だったり、コマンドを打ち込んで解析しなければなりませんでした。

パソコンに詳しくない方は上の話は宇宙語のままでOKです。

とどのつまり「とても使い勝手が悪かった」のです。

「これはいかん！」という事で作ったのがこのソフトウェアです。上記のソフトウェアが弾きだす文法の誤りを見やすく表示し、訂正の必要な箇所を指摘してくれる、というわけです。

まあ、まずは使ってみてもらえると良いかと思います。

2. 使い方

使い方はとっても簡単。タイトルに書いてあります URL 「<http://njc.lunark.org/>」 を入力し、利用開始ボタンを押してください。以下のような何かシンプルな画面が見えるでしょう。この入力欄に、文章を流し込み、[校正] ボタンを押してください。

文章博士 (Monjo-Hakase)

技術文書・テクニカルライティング向け自動校正支援システム (Automatic Correcting Assistant for Technical Writing)

入力欄

このエリアに文章をコピー&ペーストします。

校正 ← このボタンで校正！

■添削結果の凡例■

- 文字 : 主語なし
- 文字 : 冗長表現
- 文字 : 係り受け長さ冗長
- 文字 : 係り受け量過多
- 文字 : 語順エラー

■使い方■

ページ左側のフォームに文章を入力し、校正または再校正ボタンを押すと、自動構成支援処理が開始され、結果が表示されます。

さて、文章を流し込み、結果を表示した画面が以下のものになります。
なにやら一杯エラーが出ていますね。

The screenshot shows a web-based application titled "文章博士 (Monjo-Hakase)" (Automatic Correcting Assistant for Technical Writing). The main content area displays a historical text about the invention of eyeglasses. A red box highlights the sentence: "1284年ごろのイタリアで、Salvino D'Armata が世界初の眼鏡を発明したとされている。絵に眼鏡が描かれたのは Tomaso da Modena の1352年の肖像画が最初で、枢機卿 Hugh de Provence が写字室で書物を読んでいる姿が描かれている。また、1403年に作られたドイツ Bad Wildungen の教会の祭壇飾りに眼鏡が描かれている。" Below this text is a blue "再校正" (Re-correct) button. To the right, a sidebar provides examples of error types and usage instructions.

■添削結果の凡例 ■

- 文字 : 主語なし
- 文字 : 冗長表現
- 文字 : 係り受け長さ冗長
- 文字 : 係り受け量過多
- 文字 : 語順エラー

■使い方 ■

ページ左側のフォームに文章を入力し、校正または再校正ボタンを押すと、自動構成支援処理が開始され、結果が表示されます。

結果はフォームの下に表示されます。本文、校正結果、エラーについての説明が表示されますので、これを参考に文章を修正しましょう。

■使用上の注意 ■

本ソフトはcorrect・CaboChaでの判定を利用し、自動処理によって文章を校正します。

そのため、たまに係り受け解析を誤ることがあります。使用者自身が、新語・造語による係り受け誤処理を認識し、主語が曖昧でも主部が存在することを認識出来る場合は、エラーを無視して構いません。

但し説明文では、文章の係り受けが機械的に出来る文書であるということは、「分かりやすい文」であることも意味します。この点に配慮・留意し、本ソフトをご利用ください。

この校正結果をもっと下にスクロールしてみました。校正結果の一覧が、文番号並びで表示されています。このように、入力した文章に対して、自動的に係り受け解析した結果、校正が必要かもしれない箇所にチェックが入ります。

The screenshot shows the detailed error list for the corrected text. The errors are categorized by type and numbered. A red box highlights the second error: "文節長さ超過" (Excessive sentence length) at position 2, with the explanation "文節の長い箇所があります。 (30文字以上)". Other errors listed include "文節長さ超過" at positions 1, 3, and 5, and "語順エラー" at position 2.

エラー内容	文番号	エラー箇所 (矢印以降は推奨訂正例)
文節長さ超過	1	文節の長い箇所があります。 (30文字以上)
文節長さ超過	2	文節の長い箇所があります。 (30文字以上)
文節長さ超過	2	文節の長い箇所があります。 (30文字以上)
語順エラー	2	絵に眼鏡が->眼鏡が絵に
文節長さ超過	3	文節の長い箇所があります。 (30文字以上)
語順エラー	3	祭壇飾りに眼鏡が->眼鏡が祭壇飾りに
冗長表現	4	について->を
1文長さ超過	5	1文の長さが長すぎます。 (90文字以上)
文節長さ超過	5	文節の長い箇所があります。 (30文字以上)

このエラーをもとに、文章を直していくきます。基本的にはマニュアルも画面右側に表記していますので、そんなには難しくないでしょう。ページの末端には、どういうときそのエラーが出るかという、エラー内容に対する解説をつけてありますので、慣れるまではご一読ください。

上の画像の「再校正」というボタンを修正しつつ押して、少しづつエラーを減らしていきましょう。

3. 本ソフト利用の効果

では、このソフトはどの程度効果があるのでしょうか？実際に校正した文章で見比べてみましょう。

■修正前

本卒業論文のテーマは、記述した論文の可読性を上げる時間を短縮する装置の作成と、これを利用した際の伝達性の向上の評価を行う方法の提案である。

とりわけ技術文書は、専門用語が多く、高度な問題を説明するものである。そのため、文章が煩雑になりがちであるという問題を抱えている。この問題を解決するために、文章の可読性を上げ、内容を明瞭にする為の「テクニカルライティング」という手法による解決方法が、多く提案されている。

■修正後

本論文は、技術文章の可読性問題を解決する手段の制作過程と、その効果を測定した報告である。

技術文書は、専門用語が多くなりがちであり、かつ高度な問題を説明する事が多い。そのため、文章が煩雑になりがちであるという問題を抱えている。

この問題を解決するために、文章の可読性を上げ、内容を明瞭にするにする手法が多く提案されている。「テクニカルライティング」という手法は、一つの実例である。

如何でしょうか？かなり文章がすっきりしていると思います。

もちろん、これは皆様の文章作成能力にも左右されます。ですが、「文書博士」は、文法と係り受け上の問題から、誤読しそうな部分にエラーを発生させ、そこについて使用者への注意を傾けさせる作りとなっており、校正という作業が、「大量の米粒から特定の1粒を探し出す」ような作業にならなくなる、という利点があります。

これによるストレスの軽減は、校正という作業をゲーム感覚にすることでしょう。つまり、文章作成者は、文章作成という作業に没入できることになります。そして、校正に使っていた時間は、文章の改善の新たなアイディアを練ることにもっと有効活用出来ることでしょう。

皆さんも使ってみるとわかりますが、一番最初に入力した文章からは似ても似つかない、言い回しも、文章の順番も別の文章が出来上がると思います。しかし、それは簡潔に表現され、わかりやすく、誤読の少ない文章となっていることでしょう。

4. ライセンス表示

Monjo-Hakase: Web-based Automatic Text Correcting Assistant for Technical Writing
Copyright (C) 2011 Lunarsat Network.

This program is free software: you can redistribute it and/or modify
it under the terms of the GNU General Public License as published by
the Free Software Foundation, either version 3 of the License, or
(at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful,
but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of
MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the
GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License
along with this program. If not, see <<http://www.gnu.org/licenses/>>.